

28PE-am270

EGCg 配合クリームの皮膚疾患改善効果に関する研究

○石井 文由¹, 和田 侑子^{1,2}, 金山 正則², 半田 旭³, 下川 健一¹(¹明治薬大, ²ピュア・グリーン, ³マッチングメソド)

【目的】エピガロカテキンガレート（以下、EGCg）は緑茶に含まれるカテキンの一種であり、その中でも最も高い抗酸化力を持ち、抗菌、消臭効果の他様々な健康効果を持つことが知られ、注目されている。とくに、EGCg の抗酸化、抗炎症、抗菌等の効果は、皮膚の炎症や過敏反応に対して改善効果を示す可能性が考えられる。したがって本研究では、EGCg のもつ皮膚症状の改善効果を評価することを目的とした。

【方法】EGCg を 500ppm 配合した処方クリームを調製した。まず、オムツかぶれ等の皮膚炎症の起きやすいオムツ使用の入院患者を対象として、EGCg を 500ppm 配合したクリームを陰部に塗布し、臭い、ただれ、発赤、痛みおよびかゆみの症状をスコア化することにより、これらの症状に対するクリームの効果を評価した。次に、看護師および薬剤師を対象として、EGCg を 500ppm 配合したクリームを手に塗布し、アンケート調査を行うことにより、業務上発生する手あれ（とくに消毒剤による手あれ）に対するクリームの効果を評価した。

【結果および考察】EGCg を配合したクリームにはオムツ使用患者の陰部の臭い（改善率 75%）、ただれ（改善率 75%）、発赤（改善率 69%）、痛み（改善率 60%）、かゆみ（改善率 67%）を改善する効果があった。また、陰部のような敏感な皮膚に適用した場合にも副作用等の発生は無く、安全性も高いことが判明した。さらに、看護師および薬剤師の手あれに対しても改善効果（改善率 80%）が認められた。これらの効果は EGCg の炎症を抑える効果によるものと考えられた。また、抗菌効果による創傷感染の防止や消臭効果による付随した有益効果も期待でき、EGCg 配合クリームは様々な皮膚の症状に対し適用できる優れた製剤である事が明らかになった。